

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成30年10月25日 (2018.10.25)

【公開番号】特開2017-63949(P2017-63949A)  
【公開日】平成29年4月6日 (2017.4.6)  
【年通号数】公開・登録公報2017-014  
【出願番号】特願2015-191437(P2015-191437)  
【国際特許分類】

A 6 3 B 69/00 (2006.01)

A 6 3 B 69/36 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/00 C

A 6 3 B 69/36 5 4 1 Z

【手続補正書】  
【提出日】平成30年9月7日 (2018.9.7)

【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザの動作の型を示す動作情報と、前記動作によって生じる結果を示す結果情報とを対応付ける対応付け処理部を備える、情報処理装置。

【請求項 2】

前記対応付け処理部は、前記動作情報に付加されている第 1 の識別情報と、前記結果情報に付加されている第 2 の識別情報とに基づいて、前記動作情報と前記結果情報とを対応付ける、請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記対応付け処理部は、前記第 1 の識別情報と前記第 2 の識別情報とが一致した場合に、前記動作情報と前記結果情報とを対応付ける、請求項 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記第 1 の識別情報は、前記動作情報の識別子であり、  
前記第 2 の識別情報は、前記結果情報の識別子である、請求項 2 または 3 に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記動作情報の識別子は、前記動作情報に埋め込まれ、  
前記結果情報の識別子は、前記結果情報に埋め込まれる、請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記動作情報の識別子は、前記動作情報の名称に含まれ、  
前記結果情報の識別子は、前記結果情報の名称に含まれる、請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記第 1 の識別情報は、前記動作情報が生成された時間を示す前記動作情報の時間情報であり、

前記第 2 の識別情報は、前記結果情報が生成された時間を示す前記結果情報の時間情報である、請求項 2 または 3 に記載の情報処理装置。

**【請求項 8】**

前記動作情報の時間情報は、前記動作情報に埋め込まれ、  
前記結果情報の時間情報は、前記結果情報に埋め込まれる、請求項 7 に記載の情報処理装置。

**【請求項 9】**

前記動作情報の時間情報が示す時間は、前記動作情報の名称に含まれ、  
前記結果情報の時間情報が示す時間は、前記結果情報の名称に含まれる、請求項 7 に記載の情報処理装置。

**【請求項 10】**

前記結果情報に基づいて、前記動作を評価する評価部をさらに備える、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置。

**【請求項 11】**

前記評価部は、前記動作の結果を数値化することにより評価する、請求項 10 に記載の情報処理装置。

**【請求項 12】**

前記動作情報と前記結果情報とが対応付けられた対応付け結果と、前記結果情報に基づく前記動作の評価結果とに基づいて、前記動作情報が示す前記動作を複数の区分に分類する分類部をさらに備える、請求項 10 または 11 に記載の情報処理装置。

**【請求項 13】**

前記動作情報が示す前記動作の分類結果に基づいて、ユーザの動作を分析する分析部をさらに備える、請求項 12 に記載の情報処理装置。

**【請求項 14】**

前記分析部は、異なる前記区分に属するユーザの動作の差分をとることによって、ユーザの動作を分析する、請求項 13 に記載の情報処理装置。

**【請求項 15】**

ユーザの動作の分析結果を通知させる通知処理部をさらに備える、請求項 13 または 14 に記載の情報処理装置。

**【請求項 16】**

ユーザの動作の型を示す動作情報と、前記動作によって生じる結果を示す結果情報とを対応付けるステップを有する、情報処理装置により実行される情報処理方法。

**【請求項 17】**

ユーザの動作の型を示す動作情報と、前記動作によって生じる結果を示す結果情報とを対応付ける機能を、コンピュータに実現させるためのプログラム。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0070

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0070】**

また、本実施形態に係る第 2 の識別情報は、例えば、結果情報を識別するためのデータである。第 2 の識別情報としては、下記に示す例が挙げられる。

・識別子（例えば、結果情報を示す ID）

・時間情報（例えば、結果情報が生成された時間（例えば日時）を示すデータ）

**【手続補正 3】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0079

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0079】**

(b) 第 1 の識別情報と第 2 の識別情報との第 2 の付加例

動作情報の生成に係るデバイス（図４に示す装置１０）と、結果情報の生成に係るデバイス（図４に示す装置２０、３０、４０）との間において、各デバイスが備える時計の時刻が、手動でまたは自動的に、予め合わせられる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１６９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１６９】

例えば、情報処理装置１００は、“ステップＳ１１０、Ｓ１１２の処理”、“ステップＳ１０８～Ｓ１１２の処理”、“ステップＳ１０６～Ｓ１１２の処理”、または、“ステップＳ１０４～Ｓ１１２の処理”を行わないことが可能である。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１８１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０１８１】

なお、以下のような構成も本開示の技術的範囲に属する。

（１）

ユーザの動作の型を示す動作情報と、前記動作によって生じる結果を示す結果情報とを対応付ける対応付け処理部を備える、情報処理装置。

（２）

前記対応付け処理部は、前記動作情報に付加されている第１の識別情報と、前記結果情報に付加されている第２の識別情報とに基づいて、前記動作情報と前記結果情報とを対応付ける、（１）に記載の情報処理装置。

（３）

前記対応付け処理部は、前記第１の識別情報と前記第２の識別情報とが一致した場合に、前記動作情報と前記結果情報とを対応付ける、（２）に記載の情報処理装置。

（４）

前記第１の識別情報は、前記動作情報の識別子であり、

前記第２の識別情報は、前記結果情報の識別子である、（２）、または（３）に記載の情報処理装置。

（５）

前記動作情報の識別子は、前記動作情報に埋め込まれ、

前記結果情報の識別子は、前記結果情報に埋め込まれる、（４）に記載の情報処理装置。

（６）

前記動作情報の識別子は、前記動作情報の名称に含まれ、

前記結果情報の識別子は、前記結果情報の名称に含まれる、（４）に記載の情報処理装置。

（７）

前記第１の識別情報は、前記動作情報が生成された時間を示す前記動作情報の時間情報であり、

前記第２の識別情報は、前記結果情報が生成された時間を示す前記結果情報の時間情報である、（２）、または（３）に記載の情報処理装置。

（８）

前記動作情報の時間情報は、前記動作情報に埋め込まれ、

前記結果情報の時間情報は、前記結果情報に埋め込まれる、（７）に記載の情報処理装置。

( 9 )

前記動作情報の時間情報が示す時間は、前記動作情報の名称に含まれ、  
前記結果情報の時間情報が示す時間は、前記結果情報の名称に含まれる、( 7 )に記載の  
情報処理装置。

( 10 )

前記結果情報に基づいて、前記動作を評価する評価部をさらに備える、( 1 ) ~ ( 9 )  
のいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

( 11 )

前記評価部は、前記動作の結果を数値化することにより評価する、( 10 )に記載の情  
報処理装置。

( 12 )

前記動作情報と前記結果情報とが対応付けられた対応付け結果と、前記結果情報に基づ  
く前記動作の評価結果とに基づいて、前記動作情報が示す前記動作を複数の区分に分類す  
る分類部をさらに備える、( 10 )、または( 11 )に記載の情報処理装置。

( 13 )

前記動作情報が示す前記動作の分類結果に基づいて、ユーザの動作を分析する分析部を  
さらに備える、( 12 )に記載の情報処理装置。

( 14 )

前記分析部は、異なる前記区分に属するユーザの動作の差分をとることによって、ユー  
ザの動作を分析する、( 13 )に記載の情報処理装置。

( 15 )

ユーザの動作の分析結果を通知させる通知処理部をさらに備える、( 13 )、または( 1  
4 )に記載の情報処理装置。

( 16 )

ユーザの動作の型を示す動作情報と、前記動作によって生じる結果を示す結果情報とを  
対応付けるステップを有する、情報処理装置により実行される情報処理方法。

( 17 )

ユーザの動作の型を示す動作情報と、前記動作によって生じる結果を示す結果情報とを  
対応付ける機能を、コンピュータに実現させるためのプログラム。